

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス 翔はばたき		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 4 月 1 日		～ 令和 8 年 30 月 31 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18人	(回答者数) 13人
○従業者評価実施期間	令和 7 年 4 月 1 日		～ 令和 8 年 30 月 31 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 4 月 24 日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	サポートが必要な児童が多い為、スタッフの人数を多めに配置している	一人一人の障がいの特徴を理解しながら個別に対応している	地域・学校・家庭・とで連携し相談を受け、地域生活をサポートする取り組みを行っていく
2	安心安全なサービスを提供している	階段の登降、転倒防止、ドアの指挟み防止、誤飲対策など定期的にチェックしている。ケガの無い様に安心して通える居場所となるように対応しています	送迎時の車内点検の徹底、災害緊急時を想定した避難訓練の実施、ヒヤリハット事例の収集分析を定着させる
3	職場の環境、健康管理、親子で参加できるイベントを行っている	メンタルヘルスチェックを行い、気持ちよくお仕事ができるように言動にも注意し、いつも笑顔を絶やさない。親子で気軽に参加できるイベントを年に2回程行っている。	環境(設備、整理整頓)、業務(働き方)、人間関係(コミュニケーション)から改善を行い継続的に取り組む。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	医療的ケア児や重度の児童が多いため、一緒にまとまった療育が難しい	医療的ケア児の増加の為、専門的な対応が必要	包括的にケアができる看護師、理学療法士、保育士などの専門スタッフが必要
2	事業所の前が寝屋川がある為、大雨や津波警報が出た場合の災害時	安否確認と安全の確保	水害リスクを想定した対応体制の強化。より早めに避難できるように定期的な訓練を心がける
3	教員免許所持者や保育士等の専門的スタッフが少ない	専門的な知識持つ非常勤講師の人材を確保	特別非常勤講師(教員免許を持たない人が専門的な知識や経験、熱意を認められて教諭となる)の活用を考えていく